

【学校目標】心豊かに たくましく 生きぬく生徒

ちゅうるい学園
幕別町立忠類中学校
学校だより

令和8年1月29日発行
第10号②〔通算554号〕

しばざくら

令和7年度 ちゅうるい学園評価（2回目） 忠類中 集計結果

〔集計方法〕 各質問に対し、「そう思う」 4点
 「どちらかといえばそ思う」 3点
 「どちらかといえばそう思わない」 2点
 「そう思わない」 1点 として平均点を算出

前回との比較で
青字 ↗ は上昇
黒字 ← は変化なし
赤字 ↘ は下降
 を表しています。

No	対象	評価項目	R7 12月 (今回)	変化	R7 7月 (前回)	検証
1	生徒	授業では自分で深く考え、意欲的に取り組んでいる。	3.3	↘	3.4	生徒は意欲的に授業に取り組み、各教科の授業でのICT活用は日常的なものとなっている。より理解を深めるための有効活用を目指す。
	保護者	お子さんは、学習に対して意欲的に取り組んでいる。	3.0	↗	2.9	
	教職員	学校は、子どもの考えを引き出し、ICTを活用したわかりやすい授業を行っている。	3.6	↗	3.5	
2	生徒	学んだことを日常生活に生かすことができている。	3.2	←	3.2	学校での学びを通して、将来（未来）に必要な資質能力とはどのようなものかを根気強く伝えていく。
	保護者	お子さんは、学んだことを日常生活に生かすことができている。	3.1	←	3.1	
	教職員	学校は、既習事項を生かし、工夫しながら生活できるように指導している。	3.3	←	3.3	
3	生徒	「いじめをしない、させない」ように気をつけ、優しい気持ちで仲間と過ごしている。	3.9	←	3.9	いじめ防止への高い意識が同える。今後もいじめ防止、いじめを見逃さない指導を継続して行う。
	保護者	「いじめをしない、させない」ように、家庭でお子さんと対話し、思いやる心を育てている。	3.6	↗	3.5	
	教職員	学校は、「いじめを生まない」思いやりや優しさなど、心を育む指導を行っている。	3.7	←	3.7	
4	生徒	礼儀正しく自ら進んであいさつや返事ができる。	3.6	↗	3.5	生徒会が主体の「あいさつ運動」には一定の成果が見られる。場に応じた礼儀を身につける指導を継続する。
	保護者	お子さんは、礼儀正しく自ら進んであいさつや返事ができる。	3.3	←	3.3	
	教職員	学校は、自ら進んであいさつや返事など、礼儀正しく感謝の気持ちが持てるように指導している。	3.7	↗	3.8	
5	生徒	起床・就寝・学習時間など、毎日規則正しい生活ができている。	2.9	↗	2.8	家庭学習の習慣やスクリーンタイムの制限など、学校から生徒・家庭への働きかけが少しずつ伝わっていると前向きにとらえた。
	保護者	お子さんは、毎日規則正しい生活ができている。	3.0	↗	2.9	
	教職員	学校は、規則正しい生活習慣を身につけられるように指導している。	3.5	↗	3.4	
6	生徒	学校や自宅において、自ら進んで積極的に体を動かしたり、運動したりしている。	3.0	↗	3.1	体育の授業や生徒会イベントなどを通して体を動かすことが好きな生徒の多さがうかがえる。学校外での運動の機会が課題。
	保護者	お子さんは、学校や自宅において、自ら進んで積極的に体を動かしたり、運動したりしている。	2.9	←	2.9	
	教職員	学校は、進んで体を動かす運動習慣を身につけさせている。	3.3	↗	2.9	
7	生徒	将来の夢や目標に向かって努力している。	3.2	↗	2.9	職業体験や上級学校調べなど2学期は自分の将来について考える機会が多く、生徒評価が向上した。継続的な指導を行う必要がある。
	保護者	お子さんが将来の夢や目標に向かって努力し、地域社会に貢献できるように家庭で対話している。	2.9	←	2.9	
	教職員	学校は、生徒によりそい将来の夢や目標が実現し、地域社会に貢献できる生徒を育てている。	3.3	←	3.3	
8	生徒	自分やふるさとを愛し、家族や仲間を大切にしている。	3.7	←	3.7	2学期も様々な体験学習やイベントなど地域と直接かわる学習活動に恵まれた。依然として高い評価である。
	保護者	お子さんは、自分やふるさとを愛し、家族や仲間を大切にしている。	3.5	↗	3.3	
	教職員	学校は、自己肯定感や自己有用感を育み、ふるさとを愛する生徒を育てている。	3.5	↗	3.6	